

## 目標達成計画

作成日: 令和2年7月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 13	職員の異動や退職に伴い、事業所理念・グループホームに求められる役割の理解に職員間の差が大きくなっている。	事業所理念・グループホームの役割・求められる介護の実現に向けて取り組む。	地域密着型サービスの基本的な考え方、事業所理念、グループホームの役割と毎月、理解の深度を見ながら勉強会・話し合いの機会を設ける。	12ヶ月
2	23 24 25 38	BPSDへの対応・介護技術に職員間の格差が大きく統一した介護ができていない場面がある。	認知症の理解、個々の性格・個性に配慮をしたBPSDへの対応が行えるようになる。介護技術の統一化を図る。	日々の取組みの中で個別に対応を伝えていく。会議の中で対応が難しいケースについて検討を行い、対応の統一を図る。認知症・BPSDについての研修を定期的に行う。	12ヶ月
3	23 25 37 38 48	その人らしい生活を送っていただくために入居者一人一人の思いや役割、楽しみの把握が不十分であり、充実した個別ケアの提供に繋がっていない。	入居者一人一人の生活史や思い、役割、楽しさを引き出し、充実した日々を過ごしていただく。	事前アンケートやご家族及び入居者本人に随時、意向の聞き取りを行う。個別の状況把握を行う内容を明確にして職員間で統一化を図る。認知症状の変化をこまめに記録入力を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。